なな山だより

61 号　2024 年 5 月 12 日　なな山緑地の会発行

TOPICS

ヤマザクラの倒木

数年前から、大系化したヤマザクラが根元から倒れる事象が起きている。今年に入って雪の重みや風の影響で４本のヤマザクラが倒れてしまった。倒れた様子を確認すると、どのサクラも根の張りが浅く、樹幹の中心部分は触ると手でほぐれてしまう程傷んでいた。倒れる前の様子は花や葉を付け一見、完全に枯れているようには見えない。ところがある日突然、根元から倒れるというのが、ヤマザクラの倒木時の状況である。

なぜ、ヤマザクラは倒れるのか、なな山緑地の会 相田さん、なな山全体の管理について、フュージョン長池 館長 小林さんにご意見を伺った。

(写真　倒木したヤマザクラ　西の山)

ヤマザクラの倒木で考えられること

まず初めに、この倒木を見て、すぐに気付くことは、根の張りがいかにも浅いという事です。街路樹などは道路工事の根固め工等で植栽の土壌が岩盤だったり、堅く締め固めたりされていて、深く根の張りが出来ず、浅い地盤に広がっていきます。そのため、根が浅く張られて歩道の舗装を持ち上げてしまったりしている例が良く見られます。里山で自生したと思われるヤマザクラも生えているこの地盤が原因かと思われます。

この辺りの山は、多摩丘陵の一部と考えても良いと思います。一万年前に富士山の火山で数十メートル堆積したいわゆる関東ローム層の内の多摩ローム層の上に、一万年かかって表土が１mは出来たところと考えられるでしょう。表土はコケ・草から樹木へとつながって、その枯れ木や枯葉が重なり微生物の働きで、腐葉土が作られ黒土へと変っていった場所です。なな山緑地のこの辺り、表土は平均５０ｃmあるでしょうか。このくらいあれば現在の状況のようにかなりの巨木が生育していますが、その自立力を支持する根っこがどのくらいの深さまで伸びているでしょうか。

この辺りをじっくり現場検証してみるのが、倒木の要因の第一ではないかと思います。(相田)

なな山全体の様子を見ての感想

雑木林として今できる最大限の管理は、疎林にしていくということ。林床は下草刈りをしてすっきりさせて、木を間引いて密度を抑えていくというのが、今できるベストな状態です。なな山はその管理ができています。

その中で、倒木したヤマザクラは、シンボリックな大木として親しんできたと思うが、そういう管理をしていると、どうしても老齢木は風で吹さらしになり、土も少ないので弱って倒れるというのは、致し方ないことかもしれません。

むしろポジティブにとらえて、大きくなり老齢化した木が自然に倒れてくれて、その場所が更新されていくと考えた方が良いかと思います。残念な部分もあるかもしれませんが、倒木を逃れた株は花が咲いているので、悲観的にとらえずに、今やっているベストな管理状況下で、時々その様なことおきると受け入れていくのがいいのではないでしょうか。ヤマザクラの状態は根までかなり腐朽しているような感じでしたので、かなり老齢化した木で、しかも法面に立っている木はいつか弱っていくものなので、自然の現象ではないかと思います。心配される現象が起きているようには感じなかったです。(小林)

イベント

2月3日(土)

やまとさくら保育園でのシノダケ・ヒンメリ作り講座 ［シノダケ・ヒンメリ］

6組が応募してくれました。園児と保護者の他に小さい子や小学生、そして保育士の先生も加わって、楽しいイベントとなりました。

3月24日(日)　総会が開催されました。

実参加は少人数だったが、委任状を加え、総会は成立。
おおむね活発な意見交流ができました。

4月27日(土)　グリーンボランティア初級講座が開催されました。

毎年、第4回目はなな山緑地で開催されます。20名ほどの受講生の方が参加され、新緑の美しさと希少な植物の観察や、草刈り実習を行いました。

5月3日(金)　多摩丘陵の自然を守る会の方が来訪されました。

当日は9名の方が来訪されました。天候も良く、9時半より約2時間ゆっくり山を巡りました。守る会の会長は植物にも詳しく、なな山の仲間とも情報交換などをして楽しい観察会となりました。

写真：上から総会の様子、多摩グリーンボランティア初級講座（草刈り）、多摩丘陵の自然を守る会

ちょこっと安全確認

なな山周辺にある AED の場所を再確認

1、百草団地交番 （24時間対応可能）
　※交番が無人の場合は設置してある電話で連絡してから持ち出して下さい。
2、お風呂の王様 （年中無休 9時～1時）
3、三方の森ふれんど （休館日：第2.4月曜･年末年始）
4、老人ホームあすなろ （24時間対応可能）

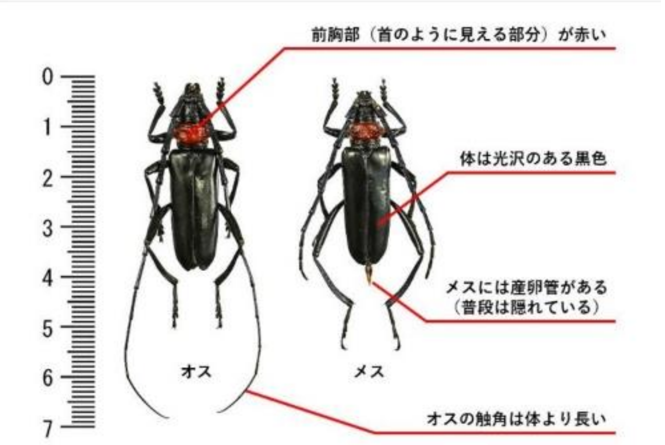
クビアカツヤカミキリについて

なな山のヤマザクラ倒木の原因ではないと思われますが、カミキリムシによる被害が 2015 年ある野市で確認されて以来、都内 2 市 5 区で確認されています。

クビアカツヤカミキリムシの幼虫は、サクラ、ウメ、モモ、ハナモモ等の主にバラ科の樹木を食害します。 被害が著しい場合には食害された樹木は衰弱し、枯れてしまうそうです。ナラ枯れと同じように、根元にフラスを出すので、被害に気付くことができます。

（朝日新聞・東京都環境局 HP）

今後なな山でも、観察が必要になってくると思われます。



クビアカツヤカミキリ成虫の特徴

詳細は以下のページから
https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/nature/animals_plants/400100a20191204115758336
（クビアカツヤカミキリの被害が発生・拡大しています！　東京都環境局 HP より）

なな山の植物誌　　ウワミズザクラ(上溝桜　バラ科)

古代より吉兆を占う神事（鹿の骨や亀甲を焼く）に用いられた木だそうです。サクラと言ってもヤマザクラなどと違い、小さな白い花が集まって房状に咲き、つぼみや若い実はアンニンゴと言って塩漬けにして、食用にする土地もあるようです。

なな山では西の谷の奥の高台に大木があって、毎年ヤマザクラが散ったあとに咲きだします。バス通りから目の高さで花を見たり、香りを楽しむことができます。このウワミズザクラは大木でも一本だけで、少し心細く感じていましたが、数年前の秋、東の谷で黄葉している中高木を二本確認し、昨年春にはこの木にも花が咲いていました。成木の樹皮は暗紫褐色でガサガサした感じがしますが、幼木は紫がかったつややかな褐色をしています。

最近、西の山でも幼木が目立つようになって、ひと安心しています。初秋に熟す果実を鳥が食べて、散布してくれたのでしょう。周辺のアズマネザサを手刈りして幼木の成長を見守りたいと思います。（水倉）

ウワミズザクラ

ウワミズザクラの幼木

なな山日記（活動・観察記録）

Ｎｏ．472　2024年1月14日（日）晴　気温11℃
参加者20名

恒例の山始め神事で山の安全を祈願。お汁粉を頂きながら、「ナラ枯れの状況に対応した今年の整備の進め方」を中心に意見交換。

● **作業/ 山始め神事、刈払い・落葉掃き、大根収穫**
● **観察/コウバイ、ハクバイ**

Ｎｏ．473　2024年1月28日（日）曇　気温9℃
参加者16名

暦の上では立春でも寒い一日。参加者の奮闘により、下草もさっぱりして美しい林内に。

● **作業/下草刈り、落ち葉掃き、枯損木伐倒**
● **観察/紅梅　白梅　ジャノヒゲ　ホトケノザ**

Ｎｏ．474　2024年　2月11日（日）晴　気温14℃
参加者　17名

快晴の暖かな一日。積雪による山桜倒木で中の谷のフェンスが倒壊。その補修に一日の 大半を費やす。

● **作業/フェンス補修、倒木片付、ジャガイモ畝立**
● **観察/スイセン**

Ｎｏ．475　2024年3月3日（日）晴　気温　11℃
参加者　15名

ヤマザクラの倒木を観察。山全体のヤマザクラに危険度が高い可能性あり。倒木片付けが作業の中心の一日。

● **作業/倒木処理・枝葉のシガラ入れ等**

Ｎｏ．476　2024年3月10日（日）晴　気温15℃
参加者　20名

朝は霜柱が立っていたが、昼には気温も上昇し、暖かくのんびりとした活動しやすい一日。

● **作業/倒木片づけ、シノダケ搬出、イチゴ里芋植付、トイレ前屋根柱の修復**
● **観察/ショカッサイ**

Ｎｏ.477　2024年3月24日(日)　曇　気温13℃
参加者　15名

総会。互いに尊重し、仲良く、楽しいなな山を目指すべく活発な意見が交わされた。

● **作業/ナメコのコマ打ち**

Ｎｏ．478　2024年4月14日（日）晴　気温24℃
参加者　14名

一気に新緑の林内。植物観察には最高の日。
市・環境政策課の要請でなな山を調査予定のＮＰＯ東京生物多様性センター渡辺氏の説明会あり。

● **作業/クヌギ伐倒、シイタケ駒打ち 他**
● **観察/チゴユリ、キンラン、エビネシュンラン**

Ｎｏ．479　2024年4月28日（日）晴　気温27℃
参加者　14名

花と新緑のシーズン到来。全山を散策し、状況視察・植物観察を行う。ナラ枯れによる立ち枯れ被害は予想以上。

● **作業/サツマイモ植え付けのための耕運、倒木片づけ、銘版補修**
● **観察/アマドコロ、エビネ、キンラン、ササバギンラン、ミズキ**

編集後記

・今回のトピックは、長池公園自然館館長の小林さんになな山に来ていただき、話を聞くことができた。また、一緒に来ていた多摩丘陵の自然を守る会の方が、なな山で観察会を開きたいと後日、9名の方を連れて来訪された。友達の輪が広がった。
・今回からなな山日記は高瀬さんが作成してくれています。感謝です！(I田)

なな山だより　第61号　2024年5月12日発行

発　　行　　なな山緑地の会
発行責任者　　中山 茂樹
住　　所　　東京都多摩市和田 1336-1
ホームページ　　https://nanayamaryokuti.jimdofree.com/
編集委員　　鎌田 文雄　飯田 歩　高瀬 知都